

第 7 号

発行 JA吉田総合病院

広島県安芸高田市吉田町吉田3666
TEL (0826) 42-0636
FAX (0826) 47-0007

あおぞら

新春号

吉田総合病院

青空

■ホームページ <http://www.hirokouren.or.jp/yhindex.htm>

療養病棟

JA吉田総合病院の病棟には、一般病棟、療養病棟、精

神科病棟と3種類の病棟があり、5階病棟は療養病棟となっております。54床のうち8床は介護認定を受けられた方も入所できるようにしております。

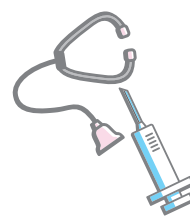
療養病棟とは、一般病棟での急性期を過ぎ症状は安定しているが、家庭や施設に戻るには不安が残るような患者様に対して、看護・介護及びリハビリテーションを継続して行い、自立した生活が送れるよう支援することを目指すとして作られました。

環境

療養に適した環境とするために、一般病棟では6人で使用している病室を5人で使用するようになっています。食堂や談話室、自分で入



5階病棟 科長 安本寿枝



浴できない方もストレッチャーで入浴できる浴室も整備しております。

療養生活を支えるスタッフは、看護師11名、介護員11名が、患者様に満足していただけるケアを目指して毎日頑張っております。

今年度の病棟目標

- ①責任ある看護行為を行い、事故防止に努める
- ②挨拶と笑顔で心がけ気配りの看護を実施する

くらし

療養生活の中で、患者様に少しでも季節感や安らぎを感じて頂きたいと、職員が交代で食堂の飾りつけをしています。春には桜、夏には花火、秋は紅葉、クリスマスや新年と、手工芸や写真、書などでにぎやかに1年が過ぎていきます。

また、入院生活に少しでも変化をと考え、リクレーションも取り入れています。中でも神楽のビデオ鑑賞は、食堂からにぎやかな「おはやし」が流れ出すと、思わず多くの方が集まって来られる人気ものです。

年末には、新年の挨拶を書こうというテーマで書道をしました。いつもは腰が痛くて寝ていることの多い患者様がすっと背を伸ばして筆を取られたり、作品には達筆あり個性的ありと、ふだんは見ることのできない入院患者様の一面にふれることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。

我が家へ

住み慣れた我が家が一番ではないでしょうか。療養生活を送る間に、病院をあげて在宅生活への準備を行います。当院の地域医療連携室には専門の相談員があり、退院後に向けての相談や支援に応じる体制が整っております。

主治医からの病状説明、リハビリ担当者からのリハビリ状況、患者様本人の希望、ご家族の希望を聞けるよう、お互いのスケジュールを調整したり、必要な場合には開業医の先生、地域のケアマネージャーや施設・福祉関係の担当者と共にカンファレンスを行い、安心して退院して頂けるように調整しています。

これからも、職員一同協力して、患者様と共に満足できる看護・介護を目指していきたいと思っております。どうぞよろしく願います。

耳鼻
咽喉科診
療
科紹
介

井門 謙太郎

耳鼻咽喉科 主任部長代理

平成13年12月15日、前日の雪が残る中、私が安佐市民病院から吉田総合病院耳鼻咽喉科に転勤してから早いもので3年の月日が流れてしまいました。その間に耳鼻咽喉科外来のスタッフも、短期間で目まぐるしく変わり、現在は私井門（平成3年卒）と若さあふれる石橋医師（平成13年卒）、耳鼻咽喉科一の力持ちの看護師の上田さん、笑顔がすてきで患者さんにもファンの多い看護師の行竹さん、最近ようやく慣れてきた看護師の山根さん、ただ一人私より古参の受付の津田さんの6人で日々の業務を切り盛りしています。

外来診療は、午前中は月曜日から金曜日までの毎日、午後は月、水、木曜日に行っています。また、入院のいろいろな簡単な手術や、時間のかかる検査も月、水、木曜日の午後に行っています。火曜日と金曜日の午後は手術日に当たっています。

一日の外来の平均患者数は約100名です。できるだけ待ち時間を少なくするように努力していますが、二人の医師で診る人数としてはかなり多く、時間帯によっては長く待っていただく場合があります。例

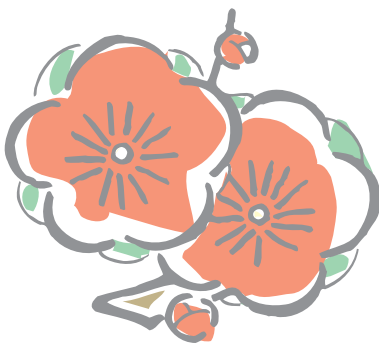
外もあります。一般的には月曜日、金曜日より木曜日の方が、午前より午後の方が比較的空いていると思いますので、緊急を要しない場合はそちらに回っていただいたほうが、待ち時間が少なくてすむと思います。

入院患者数は、平均すると約5名で、手術目的の患者様が主になりますが、鼻出血、めまい、急性扁桃炎、急性の副鼻腔炎（蓄膿）などの入院を要する急性疾患にも対応しています。

手術に関しては、扁桃炎、アデノイド、鼻副鼻腔炎、中耳炎、声帯ポリープなどの慢性炎症や、耳下腺、顎下腺、頸部腫瘍などの頭頸部領域の良性腫瘍に対し年間100件以上行っています。また当院では早期から内視鏡による副鼻腔手術を導入しており、以前の蓄膿手術の様に、歯茎を切ったり、術後に頬が腫れたりすることもなく、短期間で退院が可能となっています。アレルギー性鼻炎に対するレーザー手術も5年前から行っており、外来で30分程で終了し、年間20件以上施行しています。舌癌、喉頭癌などの頭頸部領域の悪性腫瘍は、手術単独で

は根治が難しい場合が多く、また放射線治療が良く効くという特徴があります。残念ながら当院には放射線治療の機械がありませんので、悪性腫瘍に対しては診断までを行い、診断がついた時点で、安佐市民病院や市立三次中央病院などの治療施設のある病院に紹介しています。

最後になりましたが、安芸高田市唯一の常勤耳鼻咽喉科として、地域住民の皆様が気軽に相談できる、親しみやすい雰囲気を出せるよう、そして医療は大病院に負けない水準のものを提供して、満足していただけるよう日々努力してまいりますので、今後とも何卒宜しくお願いいたします。



石橋医師

行竹看護師

井門主任部長代理

津田さん

山根看護師

上田看護師

診療医紹介



リハビリテーション科 だより

冬になると、早朝の凍結した道路や雪に足を取られ、転倒し手首を骨折といった患者様が、例年何名かいらっしゃいます。

この時期、そういった方が整形外科での治療とあわせてリハビリテーションを開始されます。関節拘縮の除去や筋力トレーニングといったリハビリテーションプログラムを行う中で受傷時の状況や生活状況を伺いますと、意外と普段から健康的な生活を送り、テキパキと家事や仕事をこなす、活動的な60歳から70歳位のご婦人が多いように思います。その活発さゆえ、早朝より出かけ、雪道や凍結路で足を滑らせ転倒してしまうことになったのでしょうか。

転倒するときの体の反応を考えて見ますと、自分の体が「転倒するぞ」と思うと、その防御姿勢として両手を突き出して体を支えようとしています。これは反



射ですので、思わずそのような格好をしてしまうのは避けようのないことなのですが、思わず手を突くことで手首の骨折を起こしてしまうようです。また、この年代の女性といえ、骨粗しょう症により骨量が減少してくる年代でもあり、これも要因のひとつにあげられています。

骨折後のリハビリテーションは、手首の骨折といえども数ヶ月は必要です。私たちリハビリテーションスタッフはリハビリテーションを進めるにあたり日々、主治医と連携を図り、リハビリテーションプログラムを検討・作成しリハ訓練として患者様に提供しています。

当院のリハビリテーション科

の業務は、病院にとどまることなく、介護老人保健施設・訪問リハビリテーションと、急性期から慢性期、さらに病院から地域にまでおよぶ包括的なリハビリテーションサービスの提供を担っております。

当科では、リハビリテーションサービスを通じて、その人に応じた生活の実現の支援活動を目指し、以下の方針を定めております。

リハビリテーション科の方針

「包括的リハビリテーション」

地域に根ざした病院としての役割を果たすため、リハビリテーションが適応となる患者様の疾患や障害など、個々の状況に合わせたリハビリテーションを病院から地域へ展開し、患者様の最大限の機能回復を目指します。

「生活支援・生活再建」

患者様の身体的機能回復だけを目標とすることなく、その人の持ちうる能力を最大限生かして、再び生き生きとした生活が送られるように支援します。

「連携」

医師や看護師などの医療スタッフや地域医療や福祉サービスと連携を図り、患者様の訴えや希望を考慮した、無理のない適切なリハビリテーションを実践していきます。

この方針を軸に今後、ますます地域の皆様に安心して利用していただけるリハビリテーション科になれるよう努力してまいります。



編集後記

国民が適切で質の高い医療を安心して享受できることは、医療を受ける立場からしても等しく望まれています。

当院では、今春の病院機能評価の認定取得のための取り組みを、病院スタッフ一丸となり行っており、これを通してさらに地域の皆様に愛される病院となるよう今後とも日々努力していきたいと考えております。

今年もどうぞよろしく
お願い申し上げます。

転ばないための心得 ～正しい歩きかた～

- * 視野を広げましょう
- * お腹に軽く力を込めましょう
- * 軽快なリズムで歩きましょう
- * 歩幅を広げましょう
- * 踵から足をつきましょう
- * 足先で地面をけりましょう



転倒予防には、特別な運動は必要ありません。
日頃から、姿勢に気をつけ無理なく楽しく、転倒予防

当院の基本理念

- ① 私たちは何人にも平等に医療を提供します。
- ② 私たちは地域の基幹病院として、最良の医療を提供します。
- ③ 私たちは納得と同意のもとに信頼される医療を提供します。

当院の基本方針

- ① やさしい心で安全・良質な医療・保健・福祉サービスを提供します。
- ② 医療を受ける人びとの人格、権利を尊重し、全ての人に貢献します。
- ③ 生涯学習の精神を保ち、知識と技術の習得に努めるとともに、医療の質向上に尽くします。
- ④ 努力と協調で健全経営に努め、明るい職場をつくります。
- ⑤ 病院の公共性を重んじ、事業を通じて地域に尽くすとともに、法規範を遵守します。

吉田総合病院 診療案内

受付時間 月曜～金曜 8:30～11:30
2005年 1月 1日現在

診療科		月	火	水	木	金
内科	1 診	加藤 博也	山下 喜史	川本 雅英	山下 喜史	川本 雅英
	2 診	鼻岡 新治	濱田 雅典	森原 正雄	鼻岡 新治	濱田 雅典
	3 診	原田 和歌子	鼻岡 新治	古川 正愛	古川 正愛	加藤 博也
	4 診	大月 知文	森原 正雄	大月 知文	原田 和歌子	大月 知文
	新患外来	川本 雅英		山下 喜史		森原 正雄
	腹部エコー	濱田 雅典	原田 和歌子	鼻岡 新治	森原 正雄	山下 喜史
	胃内視鏡	森原 正雄	川本 雅英	加藤 博也	加藤 博也	原田 和歌子
		山下 喜史	古川 正愛	濱田 雅典	川本 雅英	鼻岡 新治
	UCG		大月 知文		大月 知文	
小児科	診察	一般外来（1診：守屋 真・2診：米倉圭二）				
	※午後外来受付	一般外来（月・木・金）15:00～16:30 乳児検診（水）13:00～14:00 予防接種（火・水・木）14:00～15:00 慢性外来（火・水）14:00～16:30				
外科	1 診	住元 一夫	漆原 貴	漆原 貴	越智 誠	住元 一夫
	2 診	繁田 直史	越智 誠	越智 誠	繁田 直史	漆原 貴
	3 診（エコー）	亀岡 稔	奥田 浩	亀岡 稔	亀岡 稔	繁田 直史
	4 診			奥田 浩		奥田 浩
	専門外来（毎日）	内視鏡外科・ヘルニア：漆原 / 肝胆脾外科：越智 / 乳腺・甲状腺：繁田				
外脳神経科	診察	沖田 進司	沖田 進司	沖田 進司	沖田 進司	沖田 進司
	※脳神経内科 第2・第4月曜日：伊藤 聖					
整形外科	1 診	竹本 正瑞	定地 茂雄	竹本 正瑞	梶川 和徳	竹本 正瑞
	2 診	定地 茂雄	梶川 和徳	梶川 和徳	角西 寛	定地 茂雄
	3 診	水野 尚之	角西 寛	角西・水野		水野 尚之
眼科	診察	調枝 寛治		溝辺 裕一郎		溝辺 裕一郎
	※午前外来受付 10:30まで					
耳鼻科	午前	一般外来（1診：井門謙太郎・2診：石橋卓弥）				
	午後	一般外来	手術	一般外来	一般外来	手術
	※午前外来受付（火曜日のみ）11:00迄 ※午後外来受付 14:00～15:30					
婦人科	診察	岩沖 靖久	岩沖 靖久	岩沖 靖久	岩沖 靖久	岩沖 靖久
	※午後外来受付（水曜日のみ）13:30～15:30					
泌尿科	診察		非常勤医師		非常勤医師	
	※午後外来受付（火・木曜日のみ）12:30～15:00 ※4月からは常勤医師による診療を行います。					
精神科	1 診	長岡 幾雄	長岡 幾雄	梶山 浩明	当番医	長岡 幾雄
	2 診	草加 耕司	梶山 浩明	草加 耕司	草加 耕司	梶山 浩明
皮膚科	1 診	行徳 英一	行徳 英一	行徳 英一	行徳 英一	行徳 英一
	2 診	大原 直樹				
	※午後外来受付（月・水・木曜日のみ）14:00～15:30					
麻酔科	1 診	久保田 稔		久保田 稔		久保田 稔
	2 診	田村 秀樹		田村 秀樹		田村 秀樹

*印は午後外来診察あり。